

近畿大学 教育論叢

The Research Journal of the Teacher Education Department
Kindai University

30周年記念号
第31巻第1号



2019

■ 近畿大学教職教育部 ■

近畿大学教育論叢

第三十一巻第一号

三十周年記念号

令和元年（二〇一九）九月

近畿大学教職教育部

 近畿大学

目 次

1. 巻頭のことば

『近畿大学教育論叢』第31巻第1号の刊行に寄せて…………… 戸井田克己… 1

2. 寄 稿

教職教育部改革への挑戦……………増田 大三… 3

「教職教育部」での充実した6年間の思い出…………… 田中 保和… 9

教職教育部成立までの歩み……………鈴木 健一… 17

教職支援活動における「教職ナビ」の存在について……………石川 俊一… 21

3. 年 史

教職教育部30年史略年表作成の試み……………富岡 勝… 37

4. 論 文

教職課程学生の教職志望意識の形成に及ぼす影響

—教師効力感、自己効力感、教職興味の視点から—

Influence on the Formation of a Sense that Teacher's Course Students

Desire to be a Teacher:

From the Viewpoint of Teacher Efficacy, Self Efficacy and

Teaching Profession Interest …………… 丸岡 俊之 (MARUOKA Toshiyuki)… 53

生徒の協働的な統計的問題解決型シナリオ型教材を用いた 教員研修での効果測定についての一考察 A Study on Measuring the Effectiveness of Teacher Training Using Scenario Type Teaching Materials of Students' Collaborative Statistical Problem Solving	西仲 則博 (NISHINAKA Norihiro)...	67
子どもの学力テスト成績を反映させた教員評価が教育に対して持つ影響 —大阪市学力調査給与反映問題を糸口として— The Influences on Education of Teacher Evaluation Determined by the Student's Academic Results of Examination: from the Viewpoint of the Education Policy of Osaka-city	杉浦 健 (SUGIURA Takeshi)...	83
近畿大学における教員採用選考試験の近年の合格実績及び課題 Kindai University's Results and Problems for Teacher Appointment Examinations in Recent Years	杉山 友重・梅田 和子 (SUGIYAMA Tomoshige・UMEDA Kazuko)...	105
新学習指導要領の情報科における学習活動に関する行為動詞の分析 Analysis of Action Verbs on Learning Activities in Information Study under the New Course of Study	高橋 朋子 (TAKAHASHI Tomoko)...	125
平成の地理教育 —高校地理を中心に— Geography Education in Heisei Era: Focusing on High School Geography	戸井田克己 (TOIDA Katsuki)...	141

5. 資料・報告等

教職教育部の24年間を振り返って

—平成7年から数年間を中心に—……………堀（山口） 緑… 161

介護等体験における活動（平成29年度についての報告）

—ケアリング論から特別支援教育学へ—……………向後 礼子… 175

研修報告：カンボジアの公立小学校を訪問して……………光田 尚美… 181

教職科目「教職入門」の指導のあり方について

—チームとしての学校及び教員等育成指標との関連について—……………中西 修一… 197

小学校プログラム活動報告……………中田 睦美… 207

日本における人権教育の発展に関する考察

—「国民意識」の変遷の視点からの分析—……………小口 功… 217

教育について思うこと

—シドニーでの暮らしを通じて—……………下村 隆之… 231

教育実践家の教育研究活動……………玉井 裕和… 235

紀行文：カンボジアでの研究を終えて……………山本 智子… 281

近大生が教員をめざす理由

—恩師は彼らに何を語ったのか—……………吉川 武憲… 287

6. 『近畿大学教育論叢』一覽

近畿大学教育論叢第1卷～第30卷 総目次

.....鈴木 一久・光田 尚美
下村 隆之・高橋 朋子… 315

近畿大学教育論叢第1卷～第30卷 著者別一覽

.....鈴木 一久・光田 尚美
下村 隆之・高橋 朋子… 337

7. 編集発行内規

8. 投稿要領

9. 編集後記

近畿大学教育論叢第1巻～第30巻 総目次

第1巻第1号（創刊号，1990年3月20日発行）

- 曾我部亮雄 教職教育部設置及び教育論叢発刊のご挨拶. 1-2.
- 教職教育部 近畿大学教職教育のあゆみ. 3-8.
- 曾我部亮雄・編集委員会 教職教育部の設置と今後の課題. 9-16.
- 河合忠仁 英語教育における Contraction. 17-38.
- 末田啓二 社会的望ましさ（Social Desirability）から捉えた青年期の性役割意識. 39-51.
- 野村知男 教育裁判，これでのいのか人権・自由：家永教科書訴訟（第2次）及びバイク規制
校則訴訟判決批判. 53-70.
- 山口 充 デューイの宗教観(1)：「宗教的なもの」について. 71-82.
- 山田久喜・津田忠雄 スキーヤーの実態調査について(1)：年齢分布. 83-90.
- 山名修吉 化学教育における封筒折り紙細工の意義. 91-96.
- 山本 績 初級技術者の養成について(1)：高等学校における工業教育. 97-121.
- 山本 績 工業高等専門学校における工業教育(2)：産業構造の変革への対応について. 123-
136.
- 扇田常博 関西教育学会第41回大会の開催を終えて. 137-141.

第2巻第1号（通巻2号，1990年9月30日発行）

- 長坂政信 大学入学者の地域的動向からみた特色. 1-16.
- 野村知男 歴史教科書の記述と検定：家永教科書検定第三次訴訟第一審判決より. 17-33.
- 宮村 学 地史からみた地球の温暖化. 35-49.
- 山口 充 デューイの宗教観(2)：「神」について. 51-68.
- 山本 績 立体化学とそのモデル：山名修吉博士の化学教育のアプローチについて. 69-78.
- Shukichi Yamana Making Polyhedra Models by Using Business Envelopes in Class. 79-
87.
- 津田忠雄 いじめられるということ：あるレポートからの自由連想. 89-114.

第2巻第2号（通巻3号，1991年3月20日発行）

- 奥野郷太郎 「高校教育改革に関する中教審報告」の問題をめぐって. 1-10.
- Susumu Kobayashi Research on Picture Memory and it's Development : Past. 11-17.
- 長坂政信 高校社会科の現状と新課程における課題. 19-34.
- 野村知男 教員の身分尊重：伝習館事件を基礎として. 35-50.
- 小川竜也 効果的な音読指導をめざして. 51-58.
- 嶋中 樹 現代高校における宗教教育の一試案：特に神道教育のテキストづくりを中心として.
59-74.

第3巻第1・2号（通巻4号，1992年1月31日発行）

- 河合忠仁 中学英語教科書における冠詞の問題点. 1-26.
- Susumu Kobayashi Effects of Stimulus Duration and Interstimulus Interval on Memory
for Pictures : Points at Issue Overlooked by Many Previous Studies. 27-35.
- 野村知男 三重県下における藩立学校教育の実情：近代学校教育成立史研究(2). 37-64.
- 小澤和道 アウグスティヌスの教育思想の考察（その1）：「言葉」の分析と「教師」. 65-78.
- Richard H. Schaepe Designing a Comparative Culture Course. 79-104.
- 長坂政信 ポーランドで見た民主化の実態. 105-113.

第4巻第1号（通巻5号，1992年7月31日発行）

- 江間史明 疑問文づくりを用いた教材づくり：大学「公民科教育法」の実践. 1-18.
- 野村知男 岐阜県下における藩立学校教育の実情：近代学校教育成立史研究(3). 19-46.
- 山口 充 デューイの宗教観(3)：「人間共同体」に対する信頼と責任としての「共通の信仰」.
47-67.
- Shukichi Yamana An Easily Constructed Model of Tetrahedron Without Faces and That
of Octahedron Without Faces. 69-76.
- 小口 功 短大の通信教育の教育課程に関する研究：その2 面接授業（スクーリング）の問
題点. 77-92.
- 鈴木普慈夫 理科の化学実験指導と食品学習：ワインの分析実験を例として. 93-101.

第4巻第2号（通巻6号，1993年1月31日発行）

河合忠仁 韓国の中学英語教科書における内容：その考え方および価値観. 1-20.

鈴木健一 高校歴史教育の動向と今後の課題：歴史教育関係研究会から. 21-29.

長坂政信 大学就職者の地域的動向からみた特色. 31-48.

Shukichi Yamana An Easily Constructed Model of Twin Six-Membered Rings Sharing a Two-Membered Arc in a Coplanar Conformation. 49-57.

Shukichi Yamana and V. D. Kelkar An Easily Constructed Model of Tetrahedron Without Faces. 59-61.

K. R. Kanel and P. B. Grant Teaching College English Through Songs. 63-93.

重田 勲 英語のリダクションと音調：うちとけた音調の修得を目指して. 95-115.

河合忠仁 韓国の中学校での英語授業参観. 117-130.

第5巻第1号（通巻7号，1993年7月31日発行）

加藤豊比古 ある自己愛人格障害の心理治療過程：その1 コ福特理論，とくに変容性内在化について. 1-25.

Shukichi Yamana An Easily Constructed Truncated Tetrahedron Model. 27-30.

Shukichi Yamana An Easily Constructed Cube Model. II. 31-33.

Tamara Swenson and Brad Visgatis Shakespeare in a Japanese Classroom : Exciting Imagination through *The Tempest*. 35-49.

鈴木普慈夫 教育実習生の授業指導について：高等学校理科（化学）を例に. 51-61.

町口弘道 モンテッソーリ主義幼児教育について：その優位性と幼児心理臨床的活用（第3報）. 63-76.

本井康博 近代日本の夜間初等教育：神戸・新田夜学会の場合. 77-98.

第5巻第2号（通巻8号，1994年1月31日発行）

末田啓二 日本における高齢者の心理学研究に関する動向. 1-14.

鈴木健一 内蒙古における日本の教育政策：察南自治政府を中心に. 15-25.

野村知男 奈良県下における藩立学校教育の実情：近代学校教育成立史研究(4). 27-50.

Shukichi Yamana and V. D. Kelkar An Easily Constructed Truncated Tetrahedron Model

(Supplement). 51–54.

Shukichi Yamana and V. D. Kelkar An Easily Constructed Model of a Tetrahedron Without Faces. III. : From Four Envelopes. 55–58.

Shukichi Yamana An Easily Constructed Model of a Tetrahedron Without Faces. IV. : From Two Envelopes. 59–62.

河合忠仁 イギリス短期留学報告. 63–69.

第6巻第1号（通巻9号，1994年7月31日発行）

河合忠仁 英語教育におけるコミュニケーション重視の是非：中学校の場合. 1–21.

末田啓二 日本における高齢者の心理学研究に関する動向：1974年以前. 23–34.

長坂政信 大学生の海外旅行の実態と外国のイメージに関する分析. 35–43.

Peter B. Grant Student Generated Text Book Presentations : A Survey of Student Attitudes. 45–73.

堀（山口）緑 Melville の “Bartleby” における語り手の人物像について. 75–85.

宮崎裕治 Phrasal Verb の扱い方について：中学校編. 87–108.

Shukichi Yamana, V. D. Kelkar and S. D. Gaikwad An Easily Constructed Model of a Tetrahedron Without Faces (Supplement) : From an Envelope. 109–111.

Shukichi Yamana An Easily Constructed Truncated Octahedron Model. 113–117.

鈴木普慈夫 理科教育におけるノート筆記の指導. 119–129.

第6巻第2号（通巻10号，1995年1月31日発行）

犬田修正 金属の腐食反応速度：課題研究への具体的な提案(1). 1–7.

鈴木健一 満州国における日系教員養成問題：国立中央師道学院を中心に. 9–26.

野村知男 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(1)：大阪府・奈良県・和歌山県編. 27–43.

Tamara Swenson, Kim Kanel and Jack Barrow Designing and Employing Peer Feedback Checklists in the EFL Writing Classroom. 45–61.

Shukichi Yamana An Easily Constructed Model of a Truncated Tetrahedron. II. : Having Four Peep-holes. 63–66.

Shukichi Yamana An Easily Constructed Model of a Truncated Icosahedron. 67–72.

Shukichi Yamana An Easily Constructed Model of a Rugby Ball Structure with Small Pinching of the Waist. 73–78.

山崎 宏 日本と中国の数学教科書の比較研究. 79–86.

第7巻第1号 (通巻11号, 1995年7月31日発行)

河合忠仁 日本と韓国の高등학교教科書「英語 I」における相違点：本文と練習問題の英語を中心に. 1–23.

鈴木健一 南洋協会の設立と新嘉坡学生会館. 25–39.

野村知男 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(2)：長野県・岐阜県編. 41–64.

Richard H. Schaepe Writing and Expansion of Student Generated Topics. 65–80.

Shukichi Yamana Outline of Envelope-Folding to Make Polyhedra Models. 81–91.

長坂政信 イタリア旅行点描. 93–103.

第7巻第2号 (通巻12号, 1996年1月31日発行)

鈴木健一 故小林進教授の学績を偲ぶ. 1–6.

末田啓二 わが国の高齢者に関する心理学研究の最近の現状と課題. 7–13.

末田啓二 高齢者の勤労観と就業の実態. 15–26.

野村知男 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(3)：愛知県・三重県編. 27–43.

堀(山口) 緑 Hawthorne の “Rappaccini’s Daughter” : Beatrice という女性像について. 45–56.

山口 充 ペスタロッチの初期教育思想：『隠者の夕暮』を中心として. 57–75.

Peter Grant, Charles Clark and Tom Koch Listening Comprehension Through Songs in the English Language Classroom : A Comparison of Cloze and Question Methods. 77–97.

Shukichi Yamana, V. D. Kelkar and R. R. Gokhale Constant-Width Paper Strips Easily Made from a Business Envelope to Construct Molecular Models. 99–104.

第8巻第1号 (通巻13号, 1996年7月31日発行)

- 犬田修正 金属の腐食反応速度：課題研究への具体的な提案(2). 1-8.
- 河合忠仁 韓国の高등학교英語教科書の特徴. 9-28.
- 末田啓二 欧米における高齢者の心理学研究に関する最近の動向. 29-56.
- 鈴木普慈夫 食品学習としてのイチゴ果実酒発酵実験：理科の課題研究授業への試行. 57-67.
- 杉浦 健 目標志向 (goal orientation) 研究の展望. 69-80.
- Shukichi Yamana, Vikram Dwarkanath Kelkar and Rahul Ramchandra Gokhale An Easily Made Unit Design to Construct Fullerene Models from a Business Envelope. 81-86.

第8巻第2号 (通巻14号, 1997年1月31日発行)

- 岡本哲雄 「生きる力」の捉え方と現代における人間形成の課題：第15期中央教育審議会第一次答申に関連して. 1-15.
- 末田啓二 高齢者の適応過程における健康観の変化と主観的健康度. 17-31.
- 鈴木健一 満鉄の実業教育と保々隆矣の教育観：日中人分離主義教育の推移を中心に. 33-47.
- 野村知男 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(4)：京都府・滋賀県編. 49-68.
- 堀 (山口) 緑 文学をいかに使うか：新たな文学教材のありかたを考える. 69-86.
- 長谷正紀 中学生・高校生の国名認識度について. 87-108.

第9巻第1号 (通巻15号, 1997年7月31日発行)

- 加藤豊比古 対象喪失と喪の仕事. 1-12.
- 河合忠仁 韓国の高등학교教科科目「共通英語」の教科書における「韓国」の取り扱い方. 13-34.
- 杉浦 健 競技スポーツにおける目標志向と自己能力認知との相互関係：練習意欲, 内発的動機づけ, 競技不安との関連から. 35-47.
- 野村知男 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(5)：広島県・山口県編. 49-71.
- Shukichi Yamana, Vikram Dwarkanath Kelkar and Rahul Ramchandra Gokhale An Easily Constructed Model of a Three-Dimensional Network Structure Composed of Truncated Octahedra Bridged by Cubic Prisms. 73-82.

第9巻第2号（通巻16号，1998年1月31日発行）

- 岡本哲雄 V. E. フランクルの思想における〈意味〉と〈超意味〉：人間生成を考える視点から。
1-19.
- 末田啓二 施設高齢者の健康観と主観的健康度。21-35.
- 杉浦 健 セルフモニタリング傾向の意味の再検討：対人不安，自己評価との関係から。37-
51.
- 鈴木健一 教職志望学生の中学校社会科 地域教材レポート。53-63.
- 野村知男 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(6)：鳥取県・島根県編。65-83.
- 山口和宏 土田杏村の人間観に関する一考察：「一般性」「理念性」から「個別性」「現実性」へ。
85-101.
- Shukichi Yamana, Vikram Dwarkanath Kelkar and Rahul Ramchandra Gokhale An Easily
Constructed Model of a Three-Dimensional Network Structure Composed of Trun-
cated Octahedra Bridged by Hexagonal Prisms. 103-109.

第10巻第1号（通巻17号，1998年7月31日発行）

- 鈴木普慈夫 陸軍士官学校の化学教育について：昭和戦時期『化学教程』を例に。1-16.
- 土屋孝次 大学における憲法教育の課題：初学者教育の再検討。17-26.
- 長坂政信 宮崎県における養豚業の地域的特色：川南町を事例として。27-54.
- 堀（山口）緑 翻訳を考える：翻訳をめぐる現状報告。55-67.

第10巻第2号（通巻18号，1999年1月25日発行）

- 加藤豊比古 サイコセラピスト（心理療法家）における秘密保持（コンフィデンシャルティ）
について。1-14.
- Toyohiko Kato The Reported Dreams of Male and Female Students by the Hall and Van
de Castle Scales-No.1 Objects. 15-23.
- 末田啓二 施設高齢者の心理的適応に及ぼす要因の検討と経年変化。25-34.
- 鈴木健一 満州国における日系軍官養成問題：新京陸軍軍官学校を中心に。35-49.
- 長坂政信 鹿児島県における養豚業の地域的性格：串良町を事例として。51-71.

第11巻第1号（10周年記念号，通巻19号，1999年9月1日発行）

- 奥野郷太郎 教職教育部10周年記念号発刊のご挨拶. 1.
- 野村知男 21世紀に向けての課題. 3-7.
- 岡本哲雄 マックス・ファン・マーネンにおける教育の現象学的知について(1)：ユトレヒト学派からの影響を中心に. 9-28.
- 山口和宏 土田杏村における「華厳の世界観」の成立. 29-43.
- 野村知男 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(7)：高知県・徳島県編. 45-63.
- 奥野郷太郎 私学の現状と課題：教育現場からの提言(1). 65-83.
- 末田啓二 在宅高齢者の心理的適応に影響を及ぼす諸要因の検討. 85-95.
- Toyohiko Kato, Takafumi Isogai, Wataru Hara and Satiko Yamaguti The Reported Dreams of Male and Female Students by the Hall and Van de Castle Scales-No.2 Characters. 97-105.
- 杉浦 健 アイデンティティ形成の観点から見た総合的な学習の時間のあり方について. 107-118.
- 犬田修正 亜鉛電極のアノード反応における拡散過程(1). 119-130.
- 杉元賢治 天才と教育(Ⅰ)：アインシュタインの脳 Genius and Education：Einstein's Brain. 131-171.
- 富田克敏 質問書提出方式の試み：大学での講義改善にむけて. 173-182.
- 鈴木健一 日露協会学校の設立と推移について. 183-202.
- 長坂政信 大学生の地図認識に関する現状と課題. 203-213.
- 戸井田克己 わたしの授業ノート：「地理歴史科教育法」地理分野(1). 215-231.
- Kiyotada Fujita A Survey of Teaching Materials Used at A Private College's English Classes. 233-245.
- 堀（山口）緑 文学を創る：ラテンアメリカ文学とアメリカのロマンス(1). 247-258.

第11巻第2号（通巻20号，2000年1月31日発行）

- 末田啓二 在宅高齢者の心理的適応に及ぼす影響要因の検討：身体的・人格的・社会的要因間の比較. 1-9.
- 加藤豊比古 簡単なことが言えない夢を見る青年の心理面接過程. 11-32.

- 鈴木健一 陸軍士官学校における国史教育の推移：教科書の変遷を中心に. 33-52.
- 戸井田克己 わたしの授業ノート：「地理歴史科教育法」地理分野(2). 53-73.
- 杉元賢治 アインシュタインとガロアの比較研究 Einstein & Galois : A Comparison of the two greatest scientists. 75-88.
- 鈴木普慈夫 和紙を使った理科授業の実践：中学校のテーマ別課外授業例. 89-95.
- 花田 実 (研究ノート) 熊本藩経済の研究視点：18世紀から幕末を中心に. 97-101.
- 杉元賢治 (資料写真-ダイジェスト) ガロアの資料研究—Évariste Galois : Die kommentierte Bilddokumentation. 103-134.
- 教職教育部彙報 (1)介護等体験の実施と課題 (2)教育職員免許法改正に伴う教育課程の検討. 135-136.

第12巻第1号 (通巻21号, 2000年7月31日発行)

- 末田啓二 高齢者における自尊感情の因子構造：青年との比較. 1-10.
- 鈴木健一 「学制」の公布と教員養成問題. 11-21.
- 野村知男 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(8)：岡山県編. 23-33.
- Kiyotada Fujita A Cultural View of An American Novel : In the Case of *Silent Honor* by Danielle Steel. 35-54.
- 戸井田克己 わたしの授業ノート：「地理歴史科教育法」地理分野(3). 55-79.
- 鈴木健一 (資料紹介) 明治初期の大阪府の小学校教員免許規則. 81-87.
- 教職教育部彙報 (1)平成11年度教員免許取得者 (2)「教職教育部相互評価報告書」. 89-90.

第12巻第2号 (通巻22号, 2001年1月31日発行)

- 杉浦 健 生涯発達における転機の語りの役割について. 1-29.
- 犬田修正 亜鉛電極のアノード反応における拡散過程(2). 31-36.
- 鈴木普慈夫 近代教育の発足と理科系教育：「小学教則」と「師範学校案小学教則」を中心に. 37-54.
- 加藤豊比古 (文献紹介) Psychoanalytic Investigation of and Therapy in Borderline Group of Neuroses by Adolph Stern：神経症における境界線グループの精神分析的研究と治療. 55-66.

花田 実 (研究ノート) 井上毅文相の教育思想：先行研究と今後の課題. 67-72.

教職教育部彙報 (1)教職関係事務系組織の改変 (2)教員採用試験対策の実施 (3)昼夜開講制移
向への検討. 73-74.

第13巻第1号 (通巻23号, 2001年9月30日発行)

岡本哲雄 〈公〉〈私〉のダイナミズムに関する人間形成論への序説：H. アーレントと O. F. ボ
ルノウの〈公〉〈私〉理解の比較を手掛かりに. 1-31.

杉浦 健 人生という物語 (life story) の創造のプロセスとしての転機. 33-51.

山口和宏 土田杏村における「社会」と「国家」(1). 53-70.

加藤豊比古 スクールカウンセリング今後の課題：カリフォルニア北部地区における小学校,
ミドル・スクール, 高等学校のスクールカウンセリングの状況から. 71-103.

教職教育部彙報 (1)平成12年度教員免許状取得者 (2)「介護等体験」をめぐる運用上の諸問題
(3)教員採用試験対策の実施状況. 105-108.

第13巻第2号 (通巻24号, 2002年3月1日発行)

末田啓二 高齢者の「教える」行為と心理的適応との関係：「教える」行為に対する高齢者と
青年の意識. 1-10.

山口和宏 土田杏村における「社会」と「国家」(2). 11-28.

堀 (山口) 緑 英雄の変貌：Mercedes Lackey の作品を中心に. 29-40.

Kiyotada Fijita English Education in Japan and Japanese-American Relations. 41-53.

鈴木普慈夫 (教育実践ノート) 高校の化学における有機化学の学習指導：染料を効果的に取
り入れた学習例. 55-65.

教職教育部彙報 教員採用試験の実施状況 (その3). 67-69.

第14巻第1号 (通巻25号, 2002年10月31日発行)

Toyohiko Kato and Takahumi Isogai The Reported Dreams of Male and Female Students
by the Hall and Van de Castle Scales-No.3 Environmental Press. 1-10.

山口和宏 土田杏村における「社会」と「国家」(3). 11-28.

富岡 勝 学生による調査・発表を中心にした「特別活動論」の授業. 29-43.

戸井田克己 近畿大学における「介護等体験」の事前・事後指導. 45-61.

第14巻第2号（通巻26号，2003年3月25日発行）

岡本哲雄 〈公〉〈私〉のダイナミズムに関する人間形成論への序説(2)：現象学的〈公〉〈私〉理解と「超越」. 1-14.

山口和宏 土田杏村における「社会」と「国家」(4). 15-32.

杉浦 健 人はなぜ変わらない(1)：トラウマ記憶と PTSD, その治療と回復. 33-46.

杉元秀樹・杉元賢治 アインシュタインのノッティンガム巡礼とアイザック・ニュートンへの崇拜. 47-64.

鈴木普慈夫 財団法人大阪専門学校に関する考察：近畿大学への発展途上資料. 65-76.

第15巻第1号（通巻27号，2003年8月10日発行）

杉浦 健 人はなぜ変わらない(2)：物語の束縛 システム論的家族療法とナラティブ・セラピーの視点. 1-14.

杉元秀樹・杉元賢治 アインシュタインの世界旅行：アインシュタインの文献学研究. 15-43.

杉元秀樹 西ドイツ・ポーランド教科書会議と西ドイツ歴史教科書におけるその意義について：歴史認識を問う. 45-53.

河村正彦 日欧比較文化論と大学教授法の改善. 55-69.

佐賀枝夏文 福祉・教育現場へのカウンセリング技法の応用：ケースワーク・教育相談・自己分析へのトレーニング. 71-100.

鈴木普慈夫 海軍飛行予備学生制度と大阪専門学校戦死者：近畿大学への発展途上資料. 101-109.

第15巻第2号（通巻28号，2004年1月30日発行）

Kiyotada Fujita How to Utilize An English Drama to Enhance English Education at A Primary School : The Case of Asuka Primary School. 1-14.

杉元秀樹・杉元賢治 アインシュタインと音楽. 15-25.

杉元秀樹・杉元賢治 アインシュタイン時代の偉大な数学者との出会い：Prof. Dr. Bartel Leendert van der Waerden との回想研究記録. 27-39.

第16巻第1号（通巻29号，2004年10月30日発行）

戸井田克己 学習指導要領の変遷と歴史的思考力育成の課題. 1-15.

堀切勝之 戦後の我が国の教育政策について：中央教育審議会等と歴史事情の素描（その一）.
17-37.

Kenji Sugimoto Die Forschung über Albert Einstein in Japan : Part I. “Albert Einstein
in der Japanische Kunst”. 39-66.

第16巻第2号（通巻30号，2005年3月25日発行）

小口 功 過疎地における小学校の授業支援学生ボランティアの派遣：近畿大学豊岡短期大学の事例の分析(1). 1-16.

堀切勝之 戦後の我が国の教育政策について：中央教育審議会等と歴史事情の素描（その二）.
17-34.

富岡 勝 尋常中学校の校友会成立に関する検討課題と方法. 35-49.

辰己 勝 大学での「地理学」受講生の現状と講義内容. 51-61.

杉元賢治 ミラクルイヤーアインシュタイン'05：相対性理論・ $E=mc^2$ 誕生百年. 63-79.

第17巻第1号（通巻31号，2005年8月31日発行）

岡本哲雄 フランクル臨床哲学の現代的可能性：その歴史的意味と教育への示唆. 1-24.

加藤豊比古 生徒指導上のカウンセリング・マインド再考. 25-46.

杉元賢治 アインシュタイン：イスラエル・エルサレム・ヘブライ大学アインシュタイン文
書館. 47-75.

第17巻第2号（通巻32号，2006年3月20日発行）

角森雍次郎 学校の自主性・自律性に関する一考察：大阪府立高校について. 1-14.

堀（山口）緑 文学を使用した多角的授業の試み. 15-24.

堀切勝之 我が国の「教育の近代化」に関する一考察：大正期の「臨時教育会議」の歴史的意義とその前後の歴史事情（その一）. 25-44.

水野智美・徳田克己 幼稚園における障害者が登場する絵本の読み聞かせに関する保育者の意識. 45-54.

杉元賢治 アインシュタイン展示会 in 東京. 55-68.

第18巻第1号 (通巻33号, 2006年8月10日発行)

鈴木一久 京都府南部山城地域の木津川と近世の水害. 1-16.

杉浦 健 教員の資質としての個性. 17-27.

堀(山口) 緑 翻訳を通じて英語の特質を学ぶ: 翻訳入門講座の試み. 29-41.

第18巻第2号 (通巻34号, 2007年2月26日発行)

石川俊一 近畿大学における教員養成の課題と対応について. 1-21.

堀切勝之 我が国の「教育の近代化」に関する一考察: 大正期の「臨時教育会議」の歴史的意義とその前後の歴史事情(その二). 23-38.

辰己 勝 社会科教育法における「地域調査」の実践について. 39-49.

小口 功 過疎地における中学校の統廃合に関する考察: 兵庫県北部但東町における中学校の統合. 51-67.

岡本哲雄 21世紀における専門家教育の方向性を問う: 教育者の養成とロゴ・セラペイア(1). 69-90.

第19巻第1号 (通巻35号, 2007年9月10日発行)

戸井田克己 わたしと民俗学: 宮田登先生・野本寛一先生の思い出を交えて. 1-30.

鈴木一久 近畿大学農学部周辺の地質と地学の授業. 31-41.

岡本哲雄 人生(教育)から問われて生きるという実践: 教育者の養成とロゴ・セラペイア(2). 43-72.

加藤豊比古 「死の不安」を感じて不登校となった小学生. 73-98.

第19巻第2号 (通巻36号, 2008年3月21日発行)

小口 功 通信教育併習による小学校教員の「養成」: その1 通信教育提携プログラムの発足の背景. 1-18.

堀切勝之 公権力による教育改革に関する一考察: 官邸主導型の教育改革路線の問題. 19-37.

藤田清正 ペルージャ外国人大学. 39-62.

杉浦 健 循環運動から立ち現れる自己：自己の動的循環プロセスモデル. 63-79.

藤本幸子 「氷づけの少年」が溶け出るまでの支援：シゾイドパーソナリティ障害の青年の心理面接. 81-96.

加藤豊比古 近畿大学における最近の学生相談について：基礎的資料. 97-112.

第20巻第1号（通巻37号，2008年9月16日発行）

伊藤哲夫 エネルギー・環境教育の現状と大学の役割. 1-18.

堀切勝之 我が国の昨今の教育問題についての一考察：政治事情に起因する教育問題と社会問題化する教育問題. 19-36.

鈴木一久 近世における山城地域の水害. 37-58.

辰己 勝 琵琶湖湖岸における地形環境の変遷について：その1 南湖沿岸を中心として. 59-79.

第20巻第2号（通巻38号，2009年3月16日発行）

中田早人 子どもたちのためのエネルギー学習教室. 1-14.

中田睦美 『羅生門』のゆくえ：国語教材と文学テキストの間. 15-32.

山口和宏 土田杏村の『道徳改造論』(1)：病床からの社会運動. 33-50.

加藤豊比古 アスペルガー症候群と診断された青年の心理テスト. 51-75.

第21巻第1号（通巻39号，2009年9月16日発行）

小口 功 通信教育併習による小学校教員の「養成」：その2 近畿大学における通信教育提携プログラムの発足. 1-27.

堀切勝之 占領政策に起因する教育問題に関する一考察：戦後処理の動向とそれに起因する教育問題について. 29-48.

辰己 勝 琵琶湖湖岸における地形環境の変遷について：その2 北湖の湖岸を中心として. 49-74.

堀田美保 大学教育におけるアサーティブネス・トレーニングの実践. 75-95.

第21巻第2号（通巻40号，2010年2月26日発行）

堀切勝之 戦後の教育行政再編成に伴う教育政策と歴史事情に関する一考察：教育民主化政策から中央集権体制移行期の教育政策の陥穽. 1-31.

中田睦美 梶井基次郎「檸檬」のゆくえ：副教材のために. 33-59.

第22巻第1号（通巻41号，2010年7月31日発行）

鈴木一久 河内平野における海のなごり. 1-18.

堀切勝之 昭和30年代の「勤務評定制度」の政策的意図：「勤務評定制度」は戦後教育の自立・発展の教育政策か. 19-55.

第22巻第2号（通巻42号，2011年2月26日発行）

向後礼子・豊川 輝・神谷直樹 青年期・成人期の発達課題に関する考察：就職及び結婚に関する大学生の意識. 1-14.

小口 功 通信教育併修による小学校教員の「養成」：その3 小学校の教師を目指す動機付けの必要性. 15-37.

堀切勝之 義務教育における「学級制」に収斂される危機的問題に関する考察：管理教育政策による「学級制」の閉塞化現象. 39-67.

鈴木一久 河内の地形と地質：駅前10コースの名所案内. 69-88.

第23巻第1号（通巻43号，2011年9月30日発行）

鈴木一久 京都南部，木津川と不動川：自然環境と災害を知る1日見学コース. 1-13.

中田睦美 「教職入門」試論：講義の現場から. 15-33.

小口 功 教職教育部における公開授業（2010年度）の考察. 35-55.

岡本哲雄・富岡 勝 「ブックレビュー・セミナー」の試み：教職課程の学生にどのような本を推薦したらよいか. 57-70.

第23巻第2号（通巻44号，2012年3月31日発行）

堀（山口） 緑 近畿大学における「介護等体験」への取り組み：2007年～2010年を中心に. 1-14.

鈴木一久 京都府南部，木津川玉水橋付近の河川堆積物. 15-42.

杉浦 健 教職課程で教育心理学を学ぶ意味：教員採用試験問題とその対策から考える. 43-57.

第24巻第1号（通巻45号，2012年11月30日発行）

鈴木一久 京都府南部，木津川における礫の粒度変化. 1-16.

下村隆之 オーストラリアの社会科カリキュラムの構成と展開：ニューサウスウェールズ州を事例として. 17-34.

玉井裕和 「酸のはたらき」の授業：より深い科学的認識を育む授業を創るための一考察. 35-58.

富岡 勝 史料紹介 木下広次の「在仏雑記」と木下助之宛書簡（1876年7月22日）. 59-74.

中田睦美 わたくしの「研究」事始め：平成23年度教職教育部内FD報告より. 75-95.

第24巻第2号（通巻46号，2013年3月31日発行）

杉浦 健 そもそも授業とは：「おいしい授業の作り方」を通して考える. 1-16.

鈴木一久 淀川水系における礫の粒度変化. 17-38.

下村隆之 マイノリティ言語の教育的価値の変化とアボリジナル言語の可能性. 39-55.

山本智子 「語り」を意味づける意識化された〈私〉と意識化されない〈私〉：「不登校」の事例の検討を通して意味生成の多様性を探る. 57-75.

細尾萌子 フランスの高校における「ポートフォリオ法」の独自性：「誘導」の支援から「伴走」の支援へ. 77-102.

第25巻第1号（通巻47号，2013年9月30日発行）

杉浦 健 循環によって立ち現れる多面的自己のプロセスモデル. 1-27.

光田尚美 子どもたちはペスタロッチーとともにどう生きたか：『シュタンツだより』に即して. 29-50.

玉井裕和 「物にはすべて重さがある」という認識を創る学習内容. 51-72.

第25巻第2号（通巻48号，2014年3月31日発行）

- 鈴木一久 全国河川年最低水位の経年変化. 1-13.
- 杉浦 健 「循環によって立ち現れる多面的自己のプロセスモデル」から心理療法を考える. 15-40.
- 下村隆之 都市部のアボリジニ学生の社会参加への課題とアイデンティティ形成：シドニーで学ぶ若者たち. 41-54.

第26巻第1号（通巻49号，2014年9月19日）

- 杉浦 健・奥田雅史 学びの共同体の授業実践：理論，現状，課題. 1-15.
- 細尾萌子 フランスの中等教育における基礎学力論争：知識かコンピテンシーか. 17-46.
- 中田睦美 「教育実習指導」試論：教育実習事前指導・意義と心構えを中心に. 47-67.
- 小口 功 日本における男女共学の成立と展開の分析視点. 69-93.
- 鈴木一久 大和川，この50年の洪水と河床変動ならびに河川堆積物の形成史. 95-113.

第26巻第2号（通巻50号，2014年12月16日発行）

- 田中保和 生徒・進路指導に対する教職課程履修学生の意識と課題. 1-26.
- 杉浦 健 循環によって立ち現れる多面的自己から考えるセルフコントロール. 27-47.
- 光田尚美 学校における道徳教育の可能性と課題：道徳教育の方法に着目して. 49-67.
- 富岡 勝 教職課程科目「特別活動の理論と方法」に関する考察. 69-89.

第27巻第1号（通巻51号，2015年11月30日発行）

- 中田睦美 「山月記」の伏流水：虎と人間のゆくえ. 1-17.
- 小口 功 教育基本法改正の考察：男女共学の規定の削除の理由とは. 19-35.
- 鈴木一久 近畿大学教育論叢第1巻～第26巻 総目次. 37-48.
- 鈴木一久 近畿大学教育論叢第1巻～第26巻 著者別論文一覧. 49-61.

第27巻第2号（通巻52号，2016年3月31日発行）

- 杉浦 健・八木英二・松浦善満・林 美輝・横山政夫・大前哲彦・浅尾世津子・山口 隆
学校における教員のソーシャル・キャピタルについての事例研究. 1-17.

光田尚美 道徳教育における「畏敬の念」. 19-32.

吉川武憲 津波堆積物のはぎ取り標本を用いた大学の授業に対する防災教育の視点からの評価.
33-44.

和崎光太郎 〈青年〉史研究序説：〈青年〉の誕生を再考する. 45-61.

第28巻第1号（通巻53号，2016年11月30日発行）

中田睦美 「教職入門」試論Ⅱ：FD研修「授業力の向上」をめぐる. 1-18.

松岡克典 「21世紀型能力」を育成する『学び合い』の在り方. 19-36.

吉川武憲 居住地近隣の自然災害の認識に伴う大学生の防災意識の変化. 37-46.

第28巻第2号（通巻54号，2017年3月31日発行）

玉井裕和 小学校プログラムの学生たちとの学びから見えてきたもの：「覚えておこう」から
「学んでもおもしろい」へ，そしてリビングテーブルに置かれた「空気砲」と「ストロー弓
矢」. 1-36.

西仲則博 ICTを用いた「円周角の定理」の教材化についての研究：GeoGebraの作図機能と
表計算機能の連携した教材開発について. 37-58.

光田尚美 教育思想研究の成果を生かした「教職についての省察」の授業デザイン. 59-73.

小口 功 大学生の日本的な食習慣についての調査：味噌汁摂食の状況から，グローバル化の
中の日本人のアイデンティティを考える. 75-106.

和崎光太郎・小山元孝・富岡 勝 学校史資料論の構築に向けて：活用と分類・学校統廃合・
アーカイヴズ. 107-136.

田中保和（随想）「教職教育部」の成果と課題：6年間を振り返って. 137-144.

上林正博（随想）教職教育部の思い出：教職ナビとともに. 145-150.

第29巻第1号（通巻55号，2017年9月30日発行）

山本智子 教員をめざす学生が「介護等体験」から得るもの：「大学外の学び」が学生の視点
を転換させ「感じとる力」を育てる. 1-12.

土方由起子 法務省の「不登校」の名称について：逸脱から人権擁護へ子どもの捉え方の変容.
13-29.

- 堀（山口） 緑 英米文学への誘い：教職課程における「英米文学概論」, 31-42.
- 吉川武憲 大阪平野沖積層中の海成粘土層を認識させるボーリング資料の教材化, 43-58.
- 西仲則博 小中学校の統計教育における「知識の活用」の現状と課題について：全国学力・学習状況調査を手がかりに, 59-78.
- 仲川宏美 特別支援学級在籍児童の「数概念」の獲得に対する発達支援と「場」への支援, 79-90.

第29巻第2号（通巻56号，2017年12月20日発行）

- 下村隆之 社会科における ICT を活用した教材開発の可能性：社会科教育法の授業実践より, 1-15.
- 上藤伊知郎 コンストラクション系理論を背景とした大学におけるキャリア教育・支援と教職協働 PD, 17-47.
- 杉浦 健・奥田雅史 そもそもカリキュラムマネジメントとは？：美原中学校におけるカリキュラムマネジメントから考える, 49-70.
- 西仲則博 職業体験と修学旅行を結びつけた取り組みに関する一考察：地域の持続可能性を目指して, 71-88.

第29巻第3号（通巻57号，2018年3月20日発行）

- 林 潤平 『小学国語読本』使用時期の国語教育界における自然愛の語られ方とその養成論：日本精神と自然愛, 1-29.
- 吉川武憲 防災意識を向上させる学習要素：中学校理科単元「自然の恵みと災害」の実践から, 31-49.
- 西仲則博 統計的問題解決における知識活用を重視した教師用シナリオ型教材の開発に関する研究, 51-71.
- 中田睦美 『こゝろ』のゆくえ：文学的教材の問題提起的なアクティブ・ラーニングの試み, 73-92.
- 丸岡俊之 工業科教育法における実践と課題, 93-107.
- 梅田和子 「教職入門」における「チームとしての学校」の学び, 109-122.
- 富岡 勝（委員会報告）「教職入門」導入期について：「教職入門」FD 研修会での資料, 123

-131.

辰己 勝 (随想) 教職教育部での16年間. 133-136.

第30巻第1号 (通巻58号, 2018年9月20日発行)

光田尚美 ペスタロッチ教育論における「時間」. 1-15.

丸岡俊之 主体的・対話的学びに向けた教育行政学の授業実践. 17-32.

西仲則博 統計的問題解決におけるワークシート型知識活用評価ツールの開発. 33-47.

上藤伊知郎 (研究ノート) ポスト産業主義時代における「プロジェクト・メソッド」に関する一考察: 高等学校農業教育における「プロジェクト」の起源と意義を中心に. 49-79.

第30巻第2号 (通巻59号, 2019年2月20日発行)

山本智子 学校現場において発達障害の「診断」がもたらすもの: 教員, 保護者, 子どもの「診断」をめぐる多様な語りからその本質的意味を問う. 1-24.

直井愛里・大対香奈子・堀田美保・本岡寛子 大学教育におけるコミュニケーションスキルトレーニングの検討. 25-36.

高橋朋子 仕事ベース学習の開発に向けた情報実践創造力の抽出と可視化. 37-56.

山路順子 グローバル人材育成のための英語教育の問題点と複言語主義的外国語教育の必要性についての一考察: 持続可能な多言語社会構築に向けて. 57-84.

西仲則博 大学生による2群の比較課題に対する知識活用と判断に関する研究. 85-97.

吉川武憲 タブレット PC を用いた地層観察および顕微鏡観察における観察記録作成の試み. 99-112.

上藤伊知郎 (研究ノート) リバースジグソー法による協同学習の可能性に関する一考察. 113-135.

[編集方針]

- ① 著者名の前に肩書があるものは取り除いた。
- ② 句読点はカンマ (,) とピリオド (.) に統一した。
- ③ シリーズ番号の書式は統一した (算用数字とし、句読点は削除)。

- ④ 副題はコロン（：）で区切って表示した。
- ⑤ 著者の英文表記は原文のままとした（姓と名の順番や省略形など）。
- ⑥ 共著の場合は中黒（・）で区切った。英文における連名の場合はカンマで区切って示し、最後には and を挿入した（原文では and が入っていないものが多い）。

[作成者]

第1巻第1号（創刊号）～第26巻第2号：鈴木一久

第27巻第1号～第30巻第2号：光田尚美，下村隆之，高橋朋子

近畿大学教育論叢第1巻～第30巻 著者別一覧

A～Dなし

E

江間史明 (1992) 疑問文づくりを用いた教材づくり：大学「公民科教育法」の実践. 第4巻第1号, 1-18.

F

藤本幸子 (2008) 「氷づけの少年」が溶け出るまでの支援：シゾイドパーソナリティ障害の青年の心理面接. 第19巻第2号, 81-96.

Kiyotada Fujita (1999) A Survey of Teaching Materials Used at A Private College's English Classes. 第11巻第1号, 233-245.

Kiyotada Fujita (2000) A Cultural View of An American Novel: In the Case of *Silent Honor* by Danielle Steel. 第12巻第1号, 35-54.

Kiyotada Fujita (2002) English Education in Japan and Japanese-American Relations. 第13巻第2号, 41-53.

Kiyotada Fujita (2004) How to Utilize An English Drama to Enhance English Education at A Primary School : The Case of Asuka Primary School. 第15巻第2号, 1-14.

藤田清正 (2008) ペルージャ外国人大学. 第19巻第2号, 39-62.

G

Peter B. Grant (1994) Student Generated Text Book Presentations : A Survey of Student Attitudes. 第6巻第1号, 45-73.

Peter Grant, Charles Clark and Tom Koch (1996) Listening Comprehension Through Songs in the English Language Classroom: A Comparison of Cloze and Question Methods. 第7巻第2号, 77-97.

H

- 花田 実 (2000) (研究ノート) 熊本藩経済の研究視点：18世紀から幕末を中心に. 第11巻第2号, 97-101.
- 花田 実 (2001) (研究ノート) 井上毅文相の教育思想：先行研究と今後の課題. 第12巻第2号, 67-72.
- 長谷正紀 (1997) 中学生・高校生の国名認識度について. 第8巻第2号, 87-108.
- 林 潤平 (2018) 『小学国語読本』使用時期の国語教育界における自然愛の語られ方とその養成論：日本精神と自然愛. 第29巻第3号, 1-29.
- 土方由起子 (2017) 法務省の「不登校」の名称について：逸脱から人権擁護へ子どもの捉え方の変容. 第29巻第1号, 13-29.
- 堀 (山口) 緑 (1994) Melville の “Bartleby” における語り手の人物像について. 第6巻第1号, 75-85.
- 堀 (山口) 緑 (1996) Hawthorne の “Rapaccini’s Daughter” : Beatrice という女性像について. 第7巻第2号, 45-56.
- 堀 (山口) 緑 (1997) 文学をいかに使うか：新たな文学教材のありかたを考える. 第8巻第2号, 69-86.
- 堀 (山口) 緑 (1998) 翻訳を考える：翻訳をめぐる現状報告. 第10巻第1号, 55-67.
- 堀 (山口) 緑 (1999) 文学を創る：ラテンアメリカ文学とアメリカのロマンス(1). 第11巻第1号, 247-258.
- 堀 (山口) 緑 (2002) 英雄の変貌：Mercedes Lackey の作品を中心に. 第13巻第2号, 29-40.
- 堀 (山口) 緑 (2006) 文学を使用した多角的授業の試み. 第17巻第2号, 15-24.
- 堀 (山口) 緑 (2006) 翻訳を通じて英語の特質を学ぶ：翻訳入門講座の試み. 第18巻第1号, 29-41.
- 堀 (山口) 緑 (2012) 近畿大学における「介護等体験」への取り組み：2007年～2010年を中心に. 第23巻第2号, 1-14.
- 堀 (山口) 緑 (2017) 英米文学への誘い：教職課程における「英米文学概論」. 第29巻第1号, 31-42.
- 堀切勝之 (2004) 戦後の我が国の教育政策について：中央教育審議会等と歴史事情の素描（その一）. 第16巻第1号, 17-37.

- 堀切勝之（2005）戦後の我が国の教育政策について：中央教育審議会等と歴史事情の素描（その二）. 第16巻第2号, 17-34.
- 堀切勝之（2006）我が国の「教育の近代化」に関する一考察：大正期の「臨時教育会議」の歴史的意義とその前後の歴史事情（その一）. 第17巻第2号, 25-44.
- 堀切勝之（2007）我が国の「教育の近代化」に関する一考察：大正期の「臨時教育会議」の歴史的意義とその前後の歴史事情（その二）. 第18巻第2号, 23-38.
- 堀切勝之（2008）公権力による教育改革に関する一考察：官邸主導型の教育改革路線の問題. 第19巻第2号, 19-37.
- 堀切勝之（2008）我が国の昨今の教育問題についての一考察：政治事情に起因する教育問題と社会問題化する教育問題. 第20巻第1号, 19-36.
- 堀切勝之（2009）占領政策に起因する教育問題に関する一考察：戦後処理の動向とそれに起因する教育問題について. 第21巻第1号, 29-48.
- 堀切勝之（2010）戦後の教育行政再編成に伴う教育政策と歴史事情に関する一考察：教育民主化政策から中央集権体制移行期の教育政策の陥穽. 第21巻第2号, 1-31.
- 堀切勝之（2010）昭和30年代の「勤務評定制度」の政策的意図：「勤務評定制度」は戦後教育の自立・発展の教育政策か. 第22巻第1号, 19-55.
- 堀切勝之（2011）義務教育における「学級制」に収斂される危機的問題に関する考察：管理教育政策による「学級制」の閉塞化現象. 第22巻第2号, 39-67.
- 細尾萌子（2013）フランスの高校における「ポートフォリオ法」の独自性：「誘導」の支援から「伴走」の支援へ. 第24巻第2号, 77-102.
- 細尾萌子（2014）フランスの中等教育における基礎学力論争：知識かコンピテンシーか. 第26巻第1号, 17-46.
- 堀田美保（2009）大学教育におけるアサーティブネス・トレーニングの実践. 第21巻第1号, 75-95.

I

- 犬田修正（1995）金属の腐食反応速度：課題研究への具体的な提案(1). 第6巻第2号, 1-7.
- 犬田修正（1996）金属の腐食反応速度：課題研究への具体的な提案(2). 第8巻第1号, 1-8.
- 犬田修正（1999）亜鉛電極のアノード反応における拡散過程(1). 第11巻第1号, 119-130.

- 犬田修正 (2001) 亜鉛電極のアノード反応における拡散過程(2). 第12巻第2号, 31-36.
- 石川俊一 (2007) 近畿大学における教員養成の課題と対応について. 第18巻第2号, 1-21.
- 伊藤哲夫 (2008) エネルギー・環境教育の現状と大学の役割. 第20巻第1号, 1-18.

Jなし

K

- 上林正博 (2017) (随想) 教職教育部の思い出：教職ナビとともに. 第28巻第2号, 145-150.
- K. R. Kanel and P. B. Grant (1993) Teaching College English Through Songs. 第4巻第2号, 63-93.
- 加藤豊比古 (1993) ある自己愛人格障害の心理治療過程：その1 コ福特理論, とくに変容性内在化について. 第5巻第1号, 1-25.
- 加藤豊比古 (1997) 対象喪失と喪の仕事. 第9巻第1号, 1-12.
- 加藤豊比古 (1999) サイコセラピスト (心理療法家) における秘密保持 (コンフィデンシャリティ) について. 第10巻第2号, 1-14.
- Toyohiko Kato (1999) The Reported Dreams of Male and Female Students by the Hall and Van de Castle Scales-No.1 Objects. 第10巻第2号, 15-23.
- 加藤豊比古 (2000) 簡単なことが言えない夢を見る青年の心理面接過程. 第11巻第2号, 11-32.
- 加藤豊比古 (2001) (文献紹介) Psychoanalytic Investigation of and Therapy in Borderline Group of Neuroses by Adolph Stern：神経症における境界線グループの精神分析的研究と治療. 第12巻第2号, 55-66.
- 加藤豊比古 (2001) スクールカウンセリング今後の課題：カリフォルニア北部地区における小学校, ミドル・スクール, 高等学校のスクールカウンセリングの状況から. 第13巻第1号, 71-103.
- 加藤豊比古 (2005) 生徒指導上のカウンセリング・マインド再考. 第17巻第1号, 25-46.
- 加藤豊比古 (2007) 「死の不安」を感じて不登校となった小学生. 第19巻第1号, 73-98.
- 加藤豊比古 (2008) 近畿大学における最近の学生相談について：基礎的資料. 第19巻第2号, 97-112.

- 加藤豊比古 (2009) アスペルガー症候群と診断された青年の心理テスト. 第20巻第2号, 51-75.
- Toyohiko Kato and Takahumi Isogai (2002) The Reported Dreams of Male and Female Students by the Hall and Van de Castle Scales-No.3 Environmental Press. 第14巻第1号, 1-10.
- Toyohiko Kato, Takafumi Isogai, Wataru Hara and Satiko Yamaguti (1999) The Reported Dreams of Male and Female Students by the Hall and Van de Castle Scales-No.2 Characters. 第11巻第1号, 97-105.
- 河合忠仁 (1990) 英語教育における Contraction. 第1巻第1号, 17-38.
- 河合忠仁 (1992) 中学英語教科書における冠詞の問題点. 第3巻第1・2号, 1-26.
- 河合忠仁 (1993) 韓国の中学英語教科書における内容: その考え方および価値観. 第4巻第2号, 1-20.
- 河合忠仁 (1993) 韓国の中学校での英語授業参観. 第4巻第2号, 117-130.
- 河合忠仁 (1994) イギリス短期留学報告. 第5巻第2号, 63-69.
- 河合忠仁 (1994) 英語教育におけるコミュニケーション重視の是非: 中学校の場合. 第6巻第1号, 1-21.
- 河合忠仁 (1995) 日本と韓国の高等学校教科書「英語 I」における相違点: 本文と練習問題の英語を中心に. 第7巻第1号, 1-23.
- 河合忠仁 (1996) 韓国の高等学校英語教科書の特徴. 第8巻第1号, 9-28.
- 河合忠仁 (1997) 韓国の高等学校教科科目「共通英語」の教科書における「韓国」の取り扱い方. 第9巻第1号, 13-34.
- 河村正彦 (2003) 日欧比較文化論と大学教授法の改善. 第15巻第1号, 55-69.
- Susumu Kobayashi (1991) Research on Picture Memory and its Development: Past. 第2巻第2号, 11-17.
- Susumu Kobayashi (1992) Effects of Stimulus Duration and Interstimulus Interval on Memory for Pictures: Points at Issue Overlooked by Many Previous Studies. 第3巻第1・2号, 27-35.
- 向後礼子・豊川 輝・神谷直樹 (2011) 青年期・成人期の発達課題に関する考察: 就職及び結婚に関する大学生の意識. 第22巻第2号, 1-14.

教職教育部（1990）近畿大学教職教育のあゆみ．第1巻第1号，3-8．

Lなし

M

町口弘道（1993）モンテッソーリ主義幼児教育について：その優位性と幼児心理臨床的活用（第3報）．第5巻第1号，63-76．

丸岡俊之（2018）工業科教育法における実践と課題．第29巻第3号，93-107．

丸岡俊之（2018）主体的・対話的学びに向けた教育行政学の授業実践．第30巻第1号，17-32．

松岡克典（2016）「21世紀型能力」を育成する『学び合い』の在り方．第28巻第1号，19-36．

光田尚美（2013）子どもたちはペスタロッチーとともにどう生きたか：『シュタンツだより』に即して．第25巻第1号，29-50．

光田尚美（2014）学校における道德教育の可能性と課題：道德教育の方法に着目して．第26巻第2号，49-67．

光田尚美（2016）道德教育における「畏敬の念」．第27巻第2号，19-32．

光田尚美（2017）教育思想研究の成果を生かした「教職についての省察」の授業デザイン．第28巻第2号，59-73．

光田尚美（2018）ペスタロッチ教育論における「時間」．第30巻第1号，1-15．

宮村 学（1990）地史からみた地球の温暖化．第2巻第1号，35-49．

宮崎裕治（1994）Phrasal Verbの扱い方について：中学校編．第6巻第1号，87-108．

水野智美・徳田克己（2006）幼稚園における障害者が登場する絵本の読み聞かせに関する保育者の意識．第17巻第2号，45-54．

本井康博（1993）近代日本の夜間初等教育：神戸・新田夜学会の場合．第5巻第1号，77-98．

N

長坂政信（1990）大学入学者の地域的動向からみた特色．第2巻第1号，1-16．

長坂政信（1991）高校社会科の現状と新課程における課題．第2巻第2号，19-34．

長坂政信（1992）ポーランドで見た民主化の実態．第3巻第1・2号，105-113．

長坂政信（1993）大学就職者の地域的動向からみた特色．第4巻第2号，31-48．

- 長坂政信 (1994) 大学生の海外旅行の実態と外国のイメージに関する分析. 第6巻第1号, 35-43.
- 長坂政信 (1995) イタリア旅行点描. 第7巻第1号, 93-103.
- 長坂政信 (1998) 宮崎県における養豚業の地域的特色: 川南町を事例として. 第10巻第1号, 27-54.
- 長坂政信 (1999) 鹿児島県における養豚業の地域的性格: 串良町を事例として. 第10巻第2号, 51-71.
- 長坂政信 (1999) 大学生の地図認識に関する現状と課題. 第11巻第1号, 203-213.
- 仲川宏美 (2017) 特別支援学級在籍児童の「数概念」の獲得に対する発達支援と「場」への支援. 第29巻第1号, 79-90.
- 中田早人 (2009) 子どもたちのためのエネルギー学習教室. 第20巻第2号, 1-14.
- 中田睦美 (2009) 『羅生門』のゆくえ: 国語教材と文学テキストの間. 第20巻第2号, 15-32.
- 中田睦美 (2010) 梶井基次郎「檸檬」のゆくえ: 副教材のために. 第21巻第2号, 33-59.
- 中田睦美 (2011) 「教職入門」試論: 講義の現場から. 第23巻第1号, 15-33.
- 中田睦美 (2012) わたくしの「研究」事始め: 平成23年度教職教育部内FD報告より. 第24巻第1号, 75-95.
- 中田睦美 (2014) 「教育実習指導」試論: 教育実習事前指導・意義と心構えを中心に. 第26巻第1号, 47-67.
- 中田睦美 (2015) 「山月記」の伏流水: 虎と人間のゆくえ. 第27巻第1号, 1-17.
- 中田睦美 (2016) 「教職入門」試論Ⅱ: FD研修「授業力の向上」をめぐる. 第28巻第1号, 1-18.
- 中田睦美 (2018) 『こゝろ』のゆくえ: 文学的教材の問題提起的なアクティブ・ラーニングの試み. 第29巻第3号, 73-92.
- 直井愛里・大対香奈子・堀田美保・本岡寛子 (2019) 大学教育におけるコミュニケーションスキルトレーニングの検討. 第30巻第2号, 25-36.
- 西仲則博 (2017) ICTを用いた「円周角の定理」の教材化についての研究: GeoGebraの作図機能と表計算機能の連携した教材開発について. 第28巻第2号, 37-58.
- 西仲則博 (2017) 小中学校の統計教育における「知識の活用」の現状と課題について: 全国学力・学習状況調査を手がかりに. 第29巻第1号, 59-78.

- 西仲則博（2017）職業体験と修学旅行を結び付けた取り組みに関する一考察：地域の持続可能性を目指して. 第29巻第2号, 71-88.
- 西仲則博（2018）統計的問題解決における知識活用を重視した教師用シナリオ型教材の開発に関する研究. 第29巻第3号, 51-71.
- 西仲則博（2018）統計的問題解決におけるワークシート型知識活用評価ツールの開発. 第30巻第1号, 33-47.
- 西仲則博（2019）大学生による2群の比較課題に対する知識活用と判断に関する研究. 第30巻第2号, 85-97.
- 野村知男（1990）教育裁判, これによいのか人権・自由：家永教科書訴訟（第2次）及びバイク規制校則訴訟判決批判. 第1巻第1号, 53-70.
- 野村知男（1990）歴史教科書の記述と検定：家永教科書検定第三次訴訟第一審判決より. 第2巻第1号, 17-33.
- 野村知男（1991）教員の身分尊重：伝習館事件を基礎として. 第2巻第2号, 35-50.
- 野村知男（1992）三重県下における藩立学校教育の実情：近代学校教育成立史研究(12). 第3巻第1・2号, 37-64.
- 野村知男（1992）岐阜県下における藩立学校教育の実情：近代学校教育成立史研究(13). 第4巻第1号, 19-46.
- 野村知男（1994）奈良県下における藩立学校教育の実情：近代学校教育成立史研究(14). 第5巻第2号, 27-50.
- 野村知男（1995）『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(1)：大阪府・奈良県・和歌山県編. 第6巻第2号, 27-43.
- 野村知男（1995）『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(2)：長野県・岐阜県編. 第7巻第1号, 41-64.
- 野村知男（1996）『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(3)：愛知県・三重県編. 第7巻第2号, 27-43.
- 野村知男（1997）『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(4)：京都府・滋賀県編. 第8巻第2号, 49-68.
- 野村知男（1997）『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(5)：広島県・山口県編. 第9巻第1号, 49-71.

野村知男 (1998) 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(6)：鳥取県・島根県編. 第9巻第2号, 65-83.

野村知男 (1999) 21世紀に向けての課題. 第11巻第1号, 3-7.

野村知男 (1999) 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(7)：高知県・徳島県編. 第11巻第1号, 45-63.

野村知男 (2000) 『日本教育史資料』掲載の「寺子屋表」の研究(8)：岡山県編. 第12巻第1号, 23-33.

〇

小川竜也 (1991) 効果的な音読指導をめざして. 第2巻第2号, 51-58.

小口 功 (1992) 短大の通信教育の教育課程に関する研究：その2 面接授業（スクーリング）の問題点. 第4巻第1号, 77-92.

小口 功 (2005) 過疎地における小学校の授業支援学生ボランティアの派遣：近畿大学豊岡短期大学の事例の分析(1). 第16巻第2号, 1-16.

小口 功 (2007) 過疎地における中学校の統廃合に関する考察：兵庫県北部但東町における中学校の統合. 第18巻第2号, 51-67.

小口 功 (2008) 通信教育併習による小学校教員の「養成」：その1 通信教育提携プログラムの発足の背景. 第19巻第2号, 1-18.

小口 功 (2009) 通信教育併習による小学校教員の「養成」：その2 近畿大学における通信教育提携プログラムの発足. 第21巻第1号, 1-27.

小口 功 (2011) 通信教育併修による小学校教員の「養成」：その3 小学校の教師を目指す動機付けの必要性. 第22巻第2号, 15-37.

小口 功 (2011) 教職教育部における公開授業（2010年度）の考察. 第23巻第1号, 35-55.

小口 功 (2014) 日本における男女共学の成立と展開の分析視点. 第26巻第1号, 69-93.

小口 功 (2015) 教育基本法改正の考察：男女共学の規定の削除の理由とは. 第27巻第1号, 19-35.

小口 功 (2017) 大学生の日本的な食習慣についての調査：味噌汁摂食の状況から、グローバル化の中の日本人のアイデンティティを考える. 第28巻第2号, 75-106.

岡本哲雄 (1997) 「生きる力」の捉え方と現代における人間形成の課題：第15期中央教育審議

- 会第一次答申に関連して. 第8巻第2号, 1-15.
- 岡本哲雄 (1998) V. E. フランクルの思想における〈意味〉と〈超意味〉: 人間生成を考える視点から. 第9巻第2号, 1-19.
- 岡本哲雄 (1999) マックス・ファン・マーネンにおける教育の現象学的知について(1): ユトレヒト学派からの影響を中心に. 第11巻第1号, 9-28.
- 岡本哲雄 (2001) 〈公〉〈私〉のダイナミズムに関する人間形成論への序説: H. アーレントとO. F. ボルノウの〈公〉〈私〉理解の比較を手掛かりに. 第13巻第1号, 1-31.
- 岡本哲雄 (2003) 〈公〉〈私〉のダイナミズムに関する人間形成論への序説(2): 現象学的〈公〉〈私〉理解と「超越」. 第14巻第2号, 1-14.
- 岡本哲雄 (2005) フランクル臨床哲学の現代的可能性: その歴史的意味と教育への示唆. 第17巻第1号, 1-24.
- 岡本哲雄 (2007) 21世紀における専門家教育の方向性を問う: 教育者の養成とロゴ・セラピア(1). 第18巻第2号, 69-90.
- 岡本哲雄 (2007) 人生(教育)から問われて生きるという実践: 教育者の養成とロゴ・セラピア(2). 第19巻第1号, 43-72.
- 岡本哲雄・富岡 勝 (2011) 「ブックレビュー・セミナー」の試み: 教職課程の学生にどのような本を推薦したらよいか. 第23巻第1号, 57-70.
- 奥野郷太郎 (1991) 「高校教育改革に関する中教審報告」の問題をめぐって. 第2巻第2号, 1-10.
- 奥野郷太郎 (1999) 教職教育部10周年記念号発刊のご挨拶. 第11巻第1号, 1.
- 奥野郷太郎 (1999) 私学の現状と課題: 教育現場からの提言(1). 第11巻第1号, 65-83.
- 扇田常博 (1990) 関西教育学会第41回大会の開催を終えて. 第1巻第1号, 137-141.
- 小澤和道 (1992) アウグスティヌスの教育思想の考察(その1): 「言葉」の分析と「教師」. 第3巻第1・2号, 65-78.

P~Rなし

S

- 佐賀枝夏文 (2003) 福祉・教育現場へのカウンセリング技法の応用: ケースワーク・教育相

- 談・自己分析へのトレーニング. 第15巻第1号, 71-100.
- Richard H. Schaepe (1992) Designing a Comparative Culture Course. 第3巻第1・2号, 79-104.
- Richard H. Schaepe (1995) Writing and Expansion of Student Generated Topics. 第7巻第1号, 65-80.
- 重田 勲 (1993) 英語のリダクションと音調：うちとけた音調の修得を目指して. 第4巻第2号, 95-115.
- 嶋中 樹 (1991) 現代高校における宗教教育の一試案：特に神道教育のテキストづくりを中心として. 第2巻第2号, 59-74.
- 下村隆之 (2012) オーストラリアの社会科カリキュラムの構成と展開：ニューサウスウェールズ州を事例として. 第24巻第1号, 17-34.
- 下村隆之 (2013) マイノリティ言語の教育的価値の変化とアボリジナル言語の可能性. 第24巻第2号, 39-55.
- 下村隆之 (2014) 都市部のアボリジニ学生の子社会参加への課題とアイデンティティ形成：シドニーで学ぶ若者たち. 第25巻第2号, 41-54.
- 下村隆之 (2017) 社会科における ICT を活用した教材開発の可能性：社会科教育法の授業実践より. 第29巻第2号, 1-15.
- 曾我部亮雄 (1990) 教職教育部設置及び教育論叢発刊のご挨拶. 第1巻第1号, 1-2.
- 曾我部亮雄・編集委員会 (1990) 教職教育部の設置と今後の課題. 第1巻第1号, 9-16.
- 末田啓二 (1990) 社会的望ましさ (Social Desirability) から捉えた青年期の性役割意識. 第1巻第1号, 39-51.
- 末田啓二 (1994) 日本における高齢者の心理学研究に関する動向. 第5巻第2号, 1-14.
- 末田啓二 (1994) 日本における高齢者の心理学研究に関する動向：1974年以前. 第6巻第1号, 23-34.
- 末田啓二 (1996) わが国の高齢者に関する心理学研究の最近の現状と課題. 第7巻第2号, 7-13.
- 末田啓二 (1996) 高齢者の勤労観と就業の実態. 第7巻第2号, 15-26.
- 末田啓二 (1996) 欧米における高齢者の心理学研究に関する最近の動向. 第8巻第1号, 29-56.

- 末田啓二 (1997) 高齢者の適応過程における健康観の変化と主観的健康度. 第8巻第2号, 17-31.
- 末田啓二 (1998) 施設高齢者の健康観と主観的健康度. 第9巻第2号, 21-35.
- 末田啓二 (1999) 施設高齢者の心理的適応に及ぼす要因の検討と経年変化. 第10巻第2号, 25-34.
- 末田啓二 (1999) 在宅高齢者の心理的適応に影響を及ぼす諸要因の検討. 第11巻第1号, 85-95.
- 末田啓二 (2000) 在宅高齢者の心理的適応に及ぼす影響要因の検討: 身体的・人格的・社会的要因間の比較. 第11巻第2号, 1-9.
- 末田啓二 (2000) 高齢者における自尊感情の因子構造: 青年との比較. 第12巻第1号, 1-10.
- 末田啓二 (2002) 高齢者の「教える」行為と心理的適応との関係: 「教える」行為に対する高齢者と青年の意識. 第13巻第2号, 1-10.
- 杉元秀樹 (2003) 西ドイツ・ポーランド教科書会議と西ドイツ歴史教科書におけるその意義について: 歴史認識を問う. 第15巻第1号, 45-53.
- 杉元秀樹・杉元賢治 (2003) アインシュタインのノッティンガム巡礼とアイザック・ニュートンへの崇拜. 第14巻第2号, 47-64.
- 杉元秀樹・杉元賢治 (2003) アインシュタインの世界旅行: アインシュタインの文献学研究. 第15巻第1号, 15-43.
- 杉元秀樹・杉元賢治 (2004) アインシュタインと音楽. 第15巻第2号, 15-25.
- 杉元秀樹・杉元賢治 (2004) アインシュタイン時代の偉大な数学者との出会い: Prof. Dr. Bartel Leendert van der Waerden との回想研究記録. 第15巻第2号, 27-39.
- 杉元賢治 (1999) 天才と教育(1): アインシュタインの脳 Genius and Education: Einstein's Brain. 第11巻第1号, 131-171.
- 杉元賢治 (2000) アインシュタインとガロアの比較研究 Einstein & Galois: A Comparison of the two greatest scientists. 第11巻第2号, 75-88.
- 杉元賢治 (2000) (資料写真-ダイジェスト) ガロアの資料研究-Evariste Galois: Die kommentierte Bilddokumentation. 第11巻第2号, 103-134.
- Kenji Sugimoto (2004) Die Forschung über Albert Einstein in Japan: Part I. "Albert Einstein in der Japanische Kunst". 第16巻第1号, 39-66.

- 杉元賢治 (2005) ミラクルイヤーアインシュタイン'05：相対性理論・ $E=mc^2$ 誕生百年. 第16巻第2号, 63-79.
- 杉元賢治 (2005) アインシュタイン：イスラエル・エルサレム・ヘブライ 大学アインシュタイン文書館. 第17巻第1号, 47-75.
- 杉元賢治 (2006) アインシュタイン展示会 in 東京. 第17巻第2号, 55-68.
- 杉浦 健 (1996) 目標志向 (goal orientation) 研究の展望. 第8巻第1号, 69-80.
- 杉浦 健 (1997) 競技スポーツにおける目標志向と自己能力認知との相互関係：練習意欲, 内的発的動機づけ, 競技不安との関連から. 第9巻第1号, 35-47.
- 杉浦 健 (1998) セルフモニタリング傾向の意味の再検討：対人不安, 自己評価との関係から. 第9巻第2号, 37-51.
- 杉浦 健 (1999) アイデンティティ形成の観点から見た総合的な学習の時間のあり方について. 第11巻第1号, 107-118.
- 杉浦 健 (2001) 生涯発達における転機の語りの役割について. 第12巻第2号, 1-29.
- 杉浦 健 (2001) 人生という物語 (life story) の創造のプロセスとしての転機. 第13巻第1号, 33-51.
- 杉浦 健 (2003) 人はなぜ変わらない(1)：トラウマ記憶と PTSD, その治療と回復. 第14巻第2号, 33-46.
- 杉浦 健 (2003) 人はなぜ変わらない(2)：物語の束縛 システム論的家族療法とナラティブ・セラピーの視点. 第15巻第1号, 1-14.
- 杉浦 健 (2006) 教員の資質としての個性. 第18巻第1号, 17-27.
- 杉浦 健 (2008) 循環運動から立ち現れる自己：自己の動的循環プロセスモデル. 第19巻第2号, 63-79.
- 杉浦 健 (2012) 教職課程で教育心理学を学ぶ意味：教員採用試験問題とその対策から考える. 第23巻第2号, 43-57.
- 杉浦 健 (2013) そもそも授業とは：「おいしい授業の作り方」を通して考える. 第24巻第2号, 1-16.
- 杉浦 健 (2013) 循環によって立ち現れる多面的自己のプロセスモデル. 第25巻第1号, 1-27.
- 杉浦 健 (2014) 「循環によって立ち現れる多面的自己のプロセスモデル」から心理療法を考

- える. 第25巻第2号, 15-40.
- 杉浦 健 (2014) 循環によって立ち現れる多面的自己から考えるセルフコントロール. 第26巻第2号, 27-47.
- 杉浦 健・奥田雅史 (2014) 学びの共同体の授業実践:理論, 現状, 課題. 第26巻第1号, 1-15.
- 杉浦 健・八木英二・松浦善満・林 美輝・横山政夫・大前哲彦・浅尾世津子・山口 隆 (2016) 学校における教員のソーシャル・キャピタルについての事例研究. 第27巻第2号, 1-17.
- 杉浦 健・奥田雅史 (2017) そもそもカリキュラムマネジメントとは?:美原中学校におけるカリキュラムマネジメントから考える. 第29巻第2号, 49-70.
- 鈴木普慈夫 (1992) 理科の化学実験指導と食品学習:ワインの分析実験を例として. 第4巻第1号, 93-101.
- 鈴木普慈夫 (1993) 教育実習生の授業指導について:高等学校理科(化学)を例に. 第5巻第1号, 51-61.
- 鈴木普慈夫 (1994) 理科教育におけるノート筆記の指導. 第6巻第1号, 119-129.
- 鈴木普慈夫 (1996) 食品学習としてのイチゴ果実酒発酵実験:理科の課題研究授業への試行. 第8巻第1号, 57-67.
- 鈴木普慈夫 (1998) 陸軍士官学校の化学教育について:昭和戦時期『化学教程』を例に. 第10巻第1号, 1-16.
- 鈴木普慈夫 (2000) 和紙を使った理科授業の実践:中学校のテーマ別課外授業例. 第11巻第2号, 89-95.
- 鈴木普慈夫 (2001) 近代教育の発足と理科系教育:「小学教則」と「師範学校案小学教則」を中心に. 第12巻第2号, 37-54.
- 鈴木普慈夫 (2002) (教育実践ノート) 高校の化学における有機化学の学習指導:染料を効果的に取り入れた学習例. 第13巻第2号, 55-65.
- 鈴木普慈夫 (2003) 財団法人大阪専門学校に関する考察:近畿大学への発展途上資料. 第14巻第2号, 65-76.
- 鈴木普慈夫 (2003) 海軍飛行予備学生制度と大阪専門学校戦死者:近畿大学への発展途上資料. 第15巻第1号, 101-109.

- 鈴木一久（2006）京都府南部山城地域の木津川と近世の水害. 第18巻第1号, 1-16.
- 鈴木一久（2007）近畿大学農学部周辺の地質と地学の授業. 第19巻第1号, 31-41.
- 鈴木一久（2008）近世における山城地域の水害. 第20巻第1号, 37-58.
- 鈴木一久（2010）河内平野における海のなごり. 第22巻第1号, 1-18.
- 鈴木一久（2011）河内の地形と地質：駅前10コースの名所案内. 第22巻第2号, 69-88.
- 鈴木一久（2011）京都南部, 木津川と不動川：自然環境と災害を知る1日見学コース. 第23巻第1号, 1-13.
- 鈴木一久（2012）京都府南部, 木津川玉水橋付近の河川堆積物. 第23巻第2号, 15-42.
- 鈴木一久（2012）京都府南部, 木津川における礫の粒度変化. 第24巻第1号, 1-16.
- 鈴木一久（2013）淀川水系における礫の粒度変化. 第24巻第2号, 17-38.
- 鈴木一久（2014）全国河川年最低水位の経年変化. 第25巻第2号, 1-13.
- 鈴木一久（2014）大和川, この50年の洪水と河床変動ならびに河川堆積物の形成史. 第26巻第1号, 95-113.
- 鈴木一久（2015）近畿大学教育論叢第1巻～第26巻 総目次. 第27巻第1号, 37-48.
- 鈴木一久（2015）近畿大学教育論叢第1巻～第26巻 著者別論文一覧. 第27巻第1号, 49-61.
- 鈴木健一（1993）高校歴史教育の動向と今後の課題：歴史教育関係研究会から. 第4巻第2号, 21-29.
- 鈴木健一（1994）内蒙古における日本の教育政策：察南自治政府を中心に. 第5巻第2号, 15-25.
- 鈴木健一（1995）満州国における日系教員養成問題：国立中央師道学院を中心に. 第6巻第2号, 9-26.
- 鈴木健一（1995）南洋協会の設立と新嘉坡学生会館. 第7巻第1号, 25-39.
- 鈴木健一（1996）故小林進教授の学績を偲ぶ. 第7巻第2号, 1-6.
- 鈴木健一（1997）満鉄の実業教育と保々隆矣の教育観：日中人分離主義教育の推移を中心に. 第8巻第2号, 33-47.
- 鈴木健一（1998）教職志望学生の中学校社会科 地域教材レポート. 第9巻第2号, 53-63.
- 鈴木健一（1999）満州国における日系軍官養成問題：新京陸軍軍官学校を中心に. 第10巻第2号, 35-49.
- 鈴木健一（1999）日露協会学校の設立と推移について. 第11巻第1号, 183-202.

鈴木健一（2000）陸軍士官学校における国史教育の推移：教科書の変遷を中心に．第11巻第2号，33-52.

鈴木健一（2000）「学制」の公布と教員養成問題．第12巻第1号，11-21.

鈴木健一（2000）（資料紹介）明治初期の大阪府の小学校教員免許規則．第12巻第1号，81-87.

Tamara Swenson and Brad Visgatis（1993）Shakespeare in a Japanese Classroom: Exciting Imagination through *The Tempest*. 第5巻第1号，35-49.

Tamara Swenson, Kim Kanel and Jack Barrow（1995）Designing and Employing Peer Feedback Checklists in the EFL Writing Classroom. 第6巻第2号，45-61.

T

高橋朋子（2019）仕事ベース学習の開発に向けた情報実践創造力の抽出と可視化．第30巻第2号，37-56.

玉井裕和（2012）「酸のはたらき」の授業：より深い科学的認識を育む授業を創るための一考察．第24巻第1号，35-58.

玉井裕和（2013）「物にはすべて重さがある」という認識を創る学習内容．第25巻第1号，51-72.

玉井裕和（2017）小学校プログラムの学生たちとの学びから見てきたもの：「覚えておこう」から「学んでもおもしろい」へ，そしてリビングテーブルに置かれた「空気砲」と「ストロー弓矢」．第28巻第2号，1-36.

田中保和（2014）生徒・進路指導に対する教職課程履修学生の意識と課題．第26巻第2号，1-26.

田中保和（2017）（随想）「教職教育部」の成果と課題：6年間を振り返って．第28巻第2号，137-144.

辰己 勝（2005）大学での「地理学」受講生の現状と講義内容．第16巻第2号，51-61.

辰己 勝（2007）社会科教育法における「地域調査」の実践について．第18巻第2号，39-49.

辰己 勝（2008）琵琶湖湖岸における地形環境の変遷について：その1 南湖沿岸を中心として．第20巻第1号，59-79.

辰己 勝（2009）琵琶湖湖岸における地形環境の変遷について：その2 北湖の湖岸を中心として．第21巻第1号，49-74.

- 辰己 勝 (2018) (随想) 教職教育部での16年間. 第29巻第3号, 133-136.
- 戸井田克己 (1999) わたしの授業ノート:「地理歴史科教育法」地理分野(1). 第11巻第1号, 215-231.
- 戸井田克己 (2000) わたしの授業ノート:「地理歴史科教育法」地理分野(2). 第11巻第2号, 53-73.
- 戸井田克己 (2000) わたしの授業ノート:「地理歴史科教育法」地理分野(3). 第12巻第1号, 55-79.
- 戸井田克己 (2002) 近畿大学における「介護等体験」の事前・事後指導. 第14巻第1号, 45-61.
- 戸井田克己 (2004) 学習指導要領の変遷と歴史的思考力育成の課題. 第16巻第1号, 1-15.
- 戸井田克己 (2007) わたしと民俗学:宮田登先生・野本寛一先生の思い出を交えて. 第19巻第1号, 1-30.
- 富岡 勝 (2002) 学生による調査・発表を中心にした「特別活動論」の授業. 第14巻第1号, 29-43.
- 富岡 勝 (2005) 尋常中学校の校友会成立に関する検討課題と方法. 第16巻第2号, 35-49.
- 富岡 勝 (2012) (史料紹介) 木下広次の「在仏雑記」と木下助之宛書簡 (1876年7月22日). 第24巻第1号, 59-74.
- 富岡 勝 (2014) 教職課程科目「特別活動の理論と方法」に関する考察. 第26巻第2号, 69-89.
- 富岡 勝 (2018) (委員会報告)「教職入門」導入期について:「教職入門」FD研修会での資料. 第29巻第3号, 123-131.
- 富田克敏 (1999) 質問書提出方式の試み:大学での講義改善にむけて. 第11巻第1号, 173-182.
- 土屋孝次 (1998) 大学における憲法教育の課題:初学者教育の再検討. 第10巻第1号, 17-26.
- 津田忠雄 (1990) いじめられるということ:あるレポートからの自由連想. 第2巻第1号, 89-114.
- 角森雍次郎 (2006) 学校の自主性・自律性に関する一考察:大阪府立高校について. 第17巻第2号, 1-14.

U

- 上藤伊知郎（2017）コンストラクション系理論を背景とした大学におけるキャリア教育・支援と教職協働 PD. 第29巻第2号, 17-47.
- 上藤伊知郎（2018）（研究ノート）ポスト産業主義時代における「プロジェクト・メソッド」に関する一考察：高等学校農業教育における「プロジェクト」の起源と意義を中心に. 第30巻第1号, 49-79.
- 上藤伊知郎（2019）（研究ノート）リバースジグソー法による協同学習の可能性に関する一考察. 第30巻第2号, 113-135.
- 梅田和子（2018）「教職入門」における「チームとしての学校」の学び. 第29巻第3号, 109-122.

Vなし

W

- 和崎光太郎（2016）〈青年〉史研究序説：〈青年〉の誕生を再考する. 第27巻第2号, 45-61.
- 和崎光太郎・小山元孝・富岡 勝（2017）学校史資料論の構築に向けて：活用と分類・学校統合・アーカイヴズ. 第28巻第2号, 107-136.

Xなし

Y

- 山田久喜・津田忠雄（1990）スキーヤーの実態調査について(1)：年齢分布. 第1巻第1号, 83-90.
- 山口和宏（1998）土田杏村の人間観に関する一考察：「一般性」「理念性」から「個別性」「現実性」へ. 第9巻第2号, 85-101.
- 山口和宏（1999）土田杏村における「華厳の世界観」の成立. 第11巻第1号, 29-43.
- 山口和宏（2001）土田杏村における「社会」と「国家」(1). 第13巻第1号, 53-70.
- 山口和宏（2002）土田杏村における「社会」と「国家」(2). 第13巻第2号, 11-28.
- 山口和宏（2002）土田杏村における「社会」と「国家」(3). 第14巻第1号, 11-28.

- 山口和宏 (2003) 土田杏村における「社会」と「国家」(4). 第14巻第2号, 15-32.
- 山口和宏 (2009) 土田杏村の『道徳改造論』(1): 病床からの社会運動. 第20巻第2号, 33-50.
- 山口 充 (1990) デューイの宗教観(1): 「宗教的なもの」について. 第1巻第1号, 71-82.
- 山口 充 (1990) デューイの宗教観(2): 「神」について. 第2巻第1号, 51-68.
- 山口 充 (1992) デューイの宗教観(3): 「人間共同体」に対する信頼と責任としての「共通の信仰」. 第4巻第1号, 47-67.
- 山口 充 (1996) ペスタロッチの初期教育思想: 『隠者の夕暮』を中心として. 第7巻第2号, 57-75.
- 山路順子 (2019) グローバル人材育成のための英語教育の問題点と複言語主義的外国語教育の必要性についての一考察: 持続可能な多言語社会構築に向けて. 第30巻第2号, 57-84.
- 山本智子 (2013) 「語り」を意味づける意識化された〈私〉と意識化されない〈私〉: 「不登校」の事例の検討を通して意味生成の多様性を探る. 第24巻第2号, 57-75.
- 山本智子 (2017) 教員をめざす学生が「介護等体験」から得るもの: 「大学外の学び」が学生の視点を転換させ「感じとる力」を育てる. 第29巻第1号, 1-12.
- 山本智子 (2019) 学校現場において発達障害の「診断」がもたらすもの: 教員, 保護者, 子どもの「診断」をめぐる多様な語りからその本質的意味を問う. 第30巻第2号, 1-24.
- 山本 績 (1990) 初級技術者の養成について(1): 高等学校における工業教育. 第1巻第1号, 97-121.
- 山本 績 (1990) 工業高等専門学校における工業教育(2): 産業構造の変革への対応について. 第1巻第1号, 123-136.
- 山本 績 (1990) 立体化学とそのモデル: 山名修吉博士の化学教育のアプローチについて. 第2巻第1号, 69-78.
- 山名修吉 (1990) 化学教育における封筒折り紙細工の意義. 第1巻第1号, 91-96.
- Shukichi Yamana (1990) Making Polyhedra Models by Using Business Envelopes in Class. 第2巻第1号, 79-87.
- Shukichi Yamana (1992) An Easily Constructed Model of Tetrahedron Without Faces and That of Octahedron Without Faces. 第4巻第1号, 69-76.
- Shukichi Yamana (1993) An Easily Constructed Model of Twin Six-Membered Rings Sharing a Two-Membered Arc in a Coplanar Conformation. 第4巻第2号, 49-57.

- Shukichi Yamana** (1993) An Easily Constructed Truncated Tetrahedron Model. 第 5 卷第 1 号, 27–30.
- Shukichi Yamana** (1993) An Easily Constructed Cube Model. II. 第 5 卷第 1 号, 31–33.
- Shukichi Yamana** (1994) An Easily Constructed Model of a Tetrahedron Without Faces. IV. : From Two Envelopes. 第 5 卷第 2 号, 59–62.
- Shukichi Yamana** (1994) An Easily Constructed Truncated Octahedron Model. 第 6 卷第 1 号, 113–117.
- Shukichi Yamana** (1995) An Easily Constructed Model of a Truncated Tetrahedron. II. : Having Four Peep-holes. 第 6 卷第 2 号, 63–66.
- Shukichi Yamana** (1995) An Easily Constructed Model of a Truncated Icosahedron. 第 6 卷第 2 号, 67–72.
- Shukichi Yamana** (1995) An Easily Constructed Model of a Rugby Ball Structure with Small Pinching of the Waist. 第 6 卷第 2 号, 73–78.
- Shukichi Yamana** (1995) Outline of Envelope-Folding to Make Polyhedra Models. 第 7 卷第 1 号, 81–91.
- Shukichi Yamana** (1996) An Easily Made Unit Design to Construct Fullerene Models from a Business Envelope. 第 8 卷第 1 号, 81–86.
- Shukichi Yamana and V. D. Kelkar** (1993) An Easily Constructed Model of Tetrahedron Without Faces. 第 4 卷第 2 号, 59–61.
- Shukichi Yamana and V. D. Kelkar** (1994) An Easily Constructed Truncated Tetrahedron Model (Supplement). 第 5 卷第 2 号, 51–54.
- Shukichi Yamana and V. D. Kelkar** (1994) An Easily Constructed Model of a Tetrahedron Without Faces. III. : From Four Envelopes. 第 5 卷第 2 号, 55–58.
- Shukichi Yamana, V. D. Kelkar and S. D. Gaikwad** (1994) An Easily Constructed Model of a Tetrahedron Without Faces (Supplement) : From an Envelope. 第 6 卷第 1 号, 109–111.
- Shukichi Yamana, V. D. Kelkar and R. R. Gokhale** (1996) Constant-Width Paper Strips Easily Made from a Business Envelope to Construct Molecular Models. 第 7 卷第 2 号, 99–104.

- Shukichi Yamanam, Vikram Dwarkanath Kelkar and Rahul Ramchandra Gokhale (1997) An Easily Constructed Model of a Three-Dimensional Network Structure Composed of Truncated Octahedra Bridged by Cubic Prisms. 第9巻第1号, 73–82.
- Shukichi Yamana, Vikram Dwarkanath Kelkar and Rahul Ramchandra Gokhale (1998) An Easily Constructed Model of a Three-Dimensional Network Structure Composed of Truncated Octahedra Bridged by Hexagonal Prisms. 第9巻第2号, 103–109.
- 山崎 宏 (1995) 日本と中国の数学教科書の比較研究. 第6巻第2号, 79–86.
- 吉川武憲 (2016) 津波堆積物のはぎ取り標本を用いた大学の授業に対する防災教育の視点からの評価. 第27巻第2号, 33–44.
- 吉川武憲 (2016) 居住地近隣の自然災害の認識に伴う大学生の防災意識の変化. 第28巻第1号, 37–46.
- 吉川武憲 (2017) 大阪平野沖積層中の海成粘土層を認識させるボーリング資料の教材化. 第29巻第1号, 43–58.
- 吉川武憲 (2018) 防災意識を向上させる学習要素：中学校理科単元「自然の恵みと災害」の実践から. 第29巻第3号, 31–49.
- 吉川武憲 (2019) タブレット PC を用いた地層観察および顕微鏡観察における観察記録作成の試み. 第30巻第2号, 99–112.

Zなし

[編集方針]

- ①著者名の前に肩書があるものは取り除いた。
- ②句読点はカンマ (,) とピリオド (.) に統一した。
- ③シリーズ番号の書式は統一した (算用数字とし、句読点は削除)。
- ④副題はコロン (:) で区切って表示した。
- ⑤著者の英文表記は原文のままとした (姓と名の順番や省略形など)。
- ⑥共著の場合は中黒 (・) で区切った。英文における連名の場合はカンマで区切って示し、最後には and を挿入した (原文では and が入っていないものが多い)。

[作成者]

第1巻第1号（創刊号）～第26巻第2号：鈴木一久

第27巻第1号～第30巻第2号：光田尚美，下村隆之，高橋朋子

『近畿大学教育論叢』編集発行内規

第1条 近畿大学教育論叢（以下「本誌」という）は、教職教育部が年1回以上発行する。

第2条 本誌の編集、発行の任にあたるため編集委員会を置く。

2. 編集委員会は、委員長1名、委員若干名をもって構成する。
3. 委員長、委員は、教職教育部教授会の承認を経て、教職教育部長が委嘱する。

第3条 投稿者（執筆者）は、原則として本学園教職員に限る。但し、編集委員会の議を経て教職教育部長により投稿を認められた者はこの限りではない。

2. 投稿者は、別に定める「投稿要領」に従って、原稿を作成することとする。

第4条 原稿の校閲および採否の決定は、編集委員会が行う。

2. 編集委員会は、投稿原稿の本誌掲載の採否を判断するため、審査を行う。
3. 編集委員会は、投稿者に対し、上記審査に基づき、内容の修正等を求めることができる。

第5条 編集発行内規の改正に関しては、編集委員会の議を経て、教職教育部教授会で決定する。

第6条 当該原稿の著作権は、著作者および共著者に帰属する。

2. 著作者および共著者は、当該原稿に係わる複製権、公衆送信権及び譲渡権の許諾を近畿大学に与えるものとする。
3. 近畿大学が当該原稿の電子化・公開を委託する機関に対して、公衆送信権及び複製権の許諾を与えるものとする。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から施行する。

『近畿大学教育論叢』

(The Research Journal of the Teacher Education Department, Kindai University)

投稿要領

- 1) 原稿は未発表のものに限る。
- 2) 原稿は原則として、ワープロを使用して作成、提出するものとする。
- 3) 原稿締め切り時に、原稿をコピーしたものを3部、提出する。査読終了後、掲載が決定した論文については、コピーした原稿1部と、訂正したデータをメールで編集委員会に提出する。
- 4) 原稿には表紙を付し、次の事項を記入する。
 - イ. 表題 (含む副題)
 - ロ. 表題の英文 (含む副題)
 - ハ. 氏名、所属、職名
 - ニ. 連絡先 (教職教育部の専任以外の投稿者の場合、メールアドレスを含む)
 - ホ. 別刷りの必要部数 (規定部数を50部とし、それを超える分は自己負担とする)
 - ヘ. キーワード (5個以内)
- 5) 用紙はA4判を用い、原則として横書きで原稿を作成する。40字×30行の書式で、原則30枚以内とする。英文の場合は、原則としてAPAに準拠し、10,000語以内とする。提出に際しては、専門家の英文校閲を経たことを証明する書類を添付する。
- 6) 手書きの場合は、投稿者は編集委員会に申し出る。前項の字数を超えないことを条件に、書式、枚数などを協議する。
- 7) 本文中で、活字の大きさ、書体を変える場合は、具体的に指示する。
- 8) 表、図、写真などは、刷り上がりの大きさを指定し、具体的に指示する。
- 9) その他原稿の投稿に関しては、編集委員会で協議する。
- 10) 投稿原稿の執筆は、次の通りに行う。
 - ①英文の表題 (副題を含む)、著書名については、すべての単語 (前置詞および、冠詞 the などを除く) の最初を大文字にする。
 - ②英文論文の副題は、コロン (:) で分ける。
 - ③和文の句読点は、(、) (。) を用いる。文献では、コンマ、ピリオドを認める。
 - ④図は、Figure 1、Figure 2 あるいは、図 1、図 2 とし、表は、Table 1、Table 2 あるいは、表 1、表 2 のように通し番号をつけ、論文内で統一された表記を使用する。

⑤必要に応じて大見出し、中見出し、小見出しを用い、その表記は次のようにする。

大見出し 1. 2. ……

中見出し (1)、(2)……

小見出し ①、②……

⑥引用文献・資料は、以下のように記述する。なお注について文献を示すことも可能とする。

著書名、発行年、題名、出版社、引用ページ数（頁、ページ、p など）

著書名、発行年、論文名、雑誌名、ページ

令和元年5月1日改訂

編 集 後 記

平成31年度の近畿大学教育論叢第1号を、教職教育部30周年記念号として発行いたします。本号には、教職教育部専任の全教員が、それぞれの研究課題や問題関心にもとづいて執筆した論考を掲載しております。ひとくちに「教育学」といっても、その分野や領域はさまざまです。ここに掲載された論文や随想等から、教職教育部の陣容の多様さやユニークさがうかがえるように思います。また、30周年という節目にあたり、教職教育部のこれまでの歩みや、教職教育部の教育・運営に関わる分掌についての資料・報告等も寄せていただきました。一人ひとりの先生方の教育・研究、部運営への真摯な取り組みがあってこそ、この節目を迎えられたということ、編集に携わりながら改めてありがたく感じました。

加えて、教職教育部30年の歴史を支え、現在の運営の礎を築いてくださった諸先生方にもご寄稿いただきました。当時のご苦労や先生方の思い、また、現在は当たり前のように機能していることからの創生にかかわるお話などをうかがいますと、感謝の念に堪えません。

教職教育部10周年記念号の発刊に際して、当時の教職教育部長であった奥野郷太郎先生は、これまで考えられなかった問題の対処の方策に苦慮している学校教育の現状と、高等教育にさらなる荒波が押し寄せてくることを指摘され、教職教育部がこれら諸課題を乗り越えていくための改革を進め、独自のカリキュラムを作成してきたと述べられています。こうした諸先輩方のご尽力があって現在があること、そして諸先輩方の努力のバトンを受け継いで、学生たちに、また社会によりいっそう貢献していかなばならないという責任の重さをしっかりと受け止めたいと存じます。

編集委員会一同、『近畿大学教育論叢』が、先生方にとって有益な研究発表の場となるように尽力してまいります。今後とも奮ってご投稿いただきますよう、この場を借りてお願い申し上げます。

近畿大学教育論叢編集委員会

光田尚美、小口功、下村隆之、高橋朋子

近 畿 大 学 教 育 論 叢
教 職 教 育 部 30 周 年 記 念 号

第 31 卷 第 1 号

令和元年9月30日 刷

令和元年9月30日 刊 行

発行人 近 畿 大 学 教 職 教 育 部 長
戸 井 田 克 己

発行所 近 畿 大 学 教 職 教 育 部
577-8502

東大阪府小若江3丁目4番1号

印刷所 近 畿 大 学 管 理 部 用 度 課 (出 版 印 刷)
